

基本的な考え方

- 近代化遺産の保全、活用に対する市民意識を醸成するため、ソフト事業等すぐにでもできることから着手します。
- ランプ小屋や赤レンガ倉庫を市民共有の資産として活用するとともに、それらを結び回遊性を高めることにより、地域全体の魅力向上を図ります。
- 敦賀ノスタルジামの実現を先導するプロジェクトとして、赤レンガ倉庫の耐震補強及び一時利用、ランプ小屋の見える化やライトアップ、市民参加型レンガ舗装に取り組みます。



グランドデザイン【フェーズ2：市民憩いのガーデンスペース】民間事業者等の用地の活用について調整が整った段階で着手

- 基本的な考え方**
- ・ 休止中の線路を活用し、港と鉄道の歴史を体感しながら、多世代がゆっくりと憩うことができる快適な「緑の公園」を創出します。
 - ・ 赤レンガ倉庫は、独特の雰囲気を通年で味わうことができるように、飲食機能や歴史などを学ぶミュージアム機能、市民が多目的に利用できる貸館機能の導入を図ります。

線路を活かし往時の雰囲気を感ずる緑の公園を整備
プラットフォームの復元や蒸気機関車の移設、食堂車による飲食機能の導入など、欧亜国際連絡鉄道が運行していた雰囲気を感じられる演出や花と緑による潤い豊かな空間づくり

遊覧船の就航や豪華客船の誘致
敦賀湾内や近隣の港と連絡する遊覧船の就航、豪華客船の寄港誘致に取り組み、海上からの景観のPRと港らしい景観づくりを進める

人道の港 敦賀に因んだ空間演出
ポーランド孤児やユダヤ人難民らが上陸した地点にプレートを埋め込み明示するなど、人道の港 敦賀に因んだ空間演出で散策する人の想像力を刺激

赤レンガ倉庫と金ヶ崎緑地を連絡
金ヶ崎緑地と赤レンガ倉庫の一体性を高めるため歩道橋で連絡

遊歩道として暫定活用
敦賀港線の線路は誰もが歩ける遊歩道として暫定利用

飲食機能 ミュージアム機能 貸館機能の導入
赤レンガ倉庫の修景を実施し、雰囲気を活かしたレストランや鉄道ジオラマを導入するとともに、金ヶ崎周辺の歴史を学ぶことができる歴史資料や市民による作品展示やイベント実施など多目的スペースとして活用

敦賀新港線の一部復元
1980年頃まであったとされる敦賀新港線の位置を舗装等で分かりやすく示し、鉄道と港のまちを感じながら歩くことができる広場内の散策路として整備

人道の物語をモチーフとした交流広場づくり
オープンスペースを活かして交流が生まれる空間を創出し、リンゴのエピソードに因んだ空間演出や記念植樹を実施

レトロバスの運行
敦賀駅から金ヶ崎周辺までのアクセス性を高めるエコな交通手段の充実

開放的で潤い豊かな街路景観づくり
花や緑によるシンボリックな沿道景観、快適に歩ける歩行空間のネットワークを形成し、氣比神宮や舟溜りを含めた回遊性を高める

修景整備とライトアップ
独特の雰囲気を活かして周辺も含めた修景整備を実施するとともに、ライトアップによる良好な夜間景観の創出を図る

既存資源を磨く取り組み
回遊性を高める取り組み

ランプ小屋を往時の姿に復元
屋根を葺き直すなど、現役のランプ小屋として活躍していた当時の姿に修景、周辺環境整備を実施

グランドデザイン【フェーズ3：敦賀ノスタルジアムワープ】金ヶ崎周辺に一定の賑わいが創出された段階で民間活力主体による整備に期待

基本的な考え方

- ・敦賀ノスタルジアムの核となる交流拠点として「東洋の波止場」と呼ばれた往時のまちなみを再現し、ノスタルジアムを体感できる空間とします。
- ・欧州に開かれた玄関口の歴史についての学習機能はもちろん、民間による飲食機能等の立地を期待し、賑わいの憩いの空間とします。

敦賀ノスタルジアムの中心拠点を整備

欧亜国際連絡列車と欧亜国際連絡船のターミナルとして「東洋の波止場」と呼ばれ、多くの人で賑わい、様々なドラマが生まれたであろう鉄道棧橋にあったモダンでエキゾチックな街並みを民間活力により当時そのままに再現し、歴史資料の展示機能や異国情緒にこだわった飲食サービス、小売機能等を導入



敦賀港

ラーメン横丁などへの利活用

古い倉庫群の独特の雰囲気を活かしてラーメン横丁などの飲食機能を導入を図る
築百年以上の米穀用倉庫群の一部を、観光物産、飲食、ミニミュージアム機能を有する複合施設に転用した事例



既存資源を磨く取り組み
回遊性を高める取り組み

海辺のカフェを誘致

金ヶ崎周辺で休日をゆっくりと楽しむように、緑地越しに敦賀湾を臨むロケーションを活かしてカフェを誘致



ボードウォーク延伸による快適な回遊ネットワーク形成

舟溜り周辺に向けてボードウォークを延伸し、快適な海辺のプロムナードを創出、回遊ネットワークを形成



レトロ列車の運行

敦賀港線の線路を活かし、蒸気機関車によるレトロ列車の運行



桜並木の充実

花換まつりが行われる恋の宮として知られ、桜の名所として名高い金ヶ崎宮まで導く桜並木の充実



金ヶ崎隧道の地域活性化への活用

歴史や重厚さを感じさせる空間特性を活かしてイベントスペースとして活用したり、醸造や熟成に適する地下空間としての特性を活かして、魚介やリンゴ（人道の物語に因んで）を原料とした新たな特産品の製造や貯蔵空間など地域活性化に活用



イベントスペースとしてコンサートを開催



特産食材の熟成蔵として活用

整備構想の実現に向けて

段階的整備の考え方

